

グループコミュニケーション解析用データセット

一次世代AI研究開発の加速とコミュニケーション研究の促進に寄与

東京電機大学 武川直樹

本データセットは

ディスカッション、ポスター発表シーンの映像・音声・加速度データに研究用情報を付加したグループコミュニケーション研究用の世界最高水準のデータベース

提供先

画像情報処理、音声言語処理、自然言語処理、心理学、社会学、教育学分野における
研究用途向け

なぜグループディスカッション

- ・1対1の人工知能コミュニケーションからグループコミュニケーションの認識・行動計画・行動の研究課題が重要課題に
- ・コミュニケーションの科学的な解明が重要な情報

必要な情報

- ・発言、顔の表情、ジェスチャー、視線など豊富なデータ収録（協力者同意）
- ・発話、非言語行動（マニュアルアノテーションによりAIの教師データ利用可）

グループディスカッションコーパスの内容 100分を収録

学生（2年生）6人×2セッション 社会人6人×2セッション

【収録：社会人の例】

9台のカメラによる映像収録



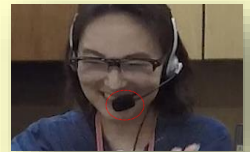
俯瞰カメラからの映像

頭上カメラからの映像

机上中央カメラからの映像と展開パノラマ映像

机上正面カメラからの個人映像

ヘッドセットマイクによる音声収録



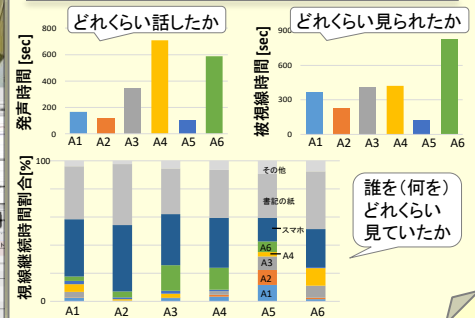
加速度・角速度センサーを頭部、胸部、両腕部に装着

【コーパスの内容】

- 映像
 - 音声
 - 頭部・胸部・腕部加速度データ
 - アノテーションデータ
- 全発話内容
視線方向
(誰を見ているかなど全7方向)
ジェスチャー (ビート、筆記など7分類)
ポスター
(前かがみ、寄りかかりなど3分類)
頭部運動
(承認の頷き、否定の首振りなど4分類)



-分析例-



本コーパスの特徴

- 顔表情や音声などコミュニケーションにおいて重要な情報を含む
- 加速度などこれまでにないデータを含む
- 発話、行動情報が人手により付与した結果、人工知能システムの学習の教師データとして利用可能
- コミュニケーション分析に利用可能

【コーパスに関するお問合せ】

大学共同利用機関法人
情報・システム研究機構
国立情報学研究所

<https://www.nii.ac.jp/dsc/idr/rdata/TDU-NEDO/>